2026 年度みらいの科学者・DX 人材共創プロジェクト実施計画書

2026 年 10月 23日（ 工学 系）

タイトル	熊本地震と熊本城−熊本の復興まちづくり
実施形式	授業（および実験）
担当教員名	田中 尚人 先生
応募 URL	必由館高校の生徒が対象となります。
募集人員	高校生 ※必由館高校対象
実施場所	熊本市立必由館高校、熊本城 ほか

概要

最初に、熊本市民の心のよりどころであり、国指定重要文化財である熊本城の熊本地震による被災状況を学び、そこからの復旧・復興について学ぶ。次に、学んだ内容を次世代に語り継ぐ『記憶の継承』事業に取り組む。具体的にはポスターや動画を作成するなどチームとして『記憶の継承』に資する活動を行う。その他、ユース水フォーラムくまもと（YWFK）が主催する熊本の高校生を対象とした『熊本の水文化ゼミ』にて関連の事業を行う。

実施日時	2026 年10月 28日（水）、11月26日（木）、2027 年3月18日(木)

担当者からのコメント等

（受講方法、実施にあったって受講生が注意すること、当日受講生が持ってくるもの、当日の服装 等）

2016 年に震度7の強震が二度襲った熊本地震から 10 年が経ちました。高校生の皆さんは、熊本地震が起きたときは、何歳だったでしょうか？私たちは、『記憶の継承』という事業に取り組んでおり、熊本地震やその復興の 10 年で人々が感じたり、考えたりした、さまざまな体験や記憶、これらを学びとして、次の 10 年につなげていく活動をしています。「記憶の継承」は、専門家や熊本地震を経験した人でないとできない、というものではありません。例えば、1995 年1月 17 日に起きた阪神・淡路大震災からは 31 年が経ちましたが、今も多くの人々が「語り部」や「語り継ぎ」の活動をしています。皆さんも、私たちと一緒に、熊本のまちや熊本城の被災、そして復興まちづくりを未来に伝える「記憶の継承」に取り組みませんか？

・最後のアンケートに使うため、インターネットにつながるタブレットやスマートフォン（学校の iPad など）があればお持ちください。

・参加希望後、どうしても欠席の場合、必ず、各講座連絡メールに連絡ください。無断欠席されますと、準備器具等、スタッフの準備、予算費使用に影響がでます。欠席と判断された時点で速やかに連絡をお願いいたします

実施に関するイメージ（画像・イラスト等）

（内容をイメージできる画像やイラスト、動画の URL 等）



■WS の風景



■熊本城フィールドサーベイ



■講義風景

実施場所の地図・経路

（実施場所の地図や経路、公共交通機関情報 等）